

加古川平成ロータリークラブ
会長 原田 悟
幹事 高田 裕美
公共イメージ委員長 網本 徹
2680 地区ガバナー 城 守

**UNITE
FOR
GOOD**

例会日/毎金曜日 18:00~19:00・例会場/加古川プラザホテル
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp

2025~2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレッツォ

No. 1623 May 1, 2026

例会プログラム

第 26 回(5 月 1 日)

「フ リ ー ト ーク」
(次年度について)

次年度会長・幹事

例会当番 柴田

次週例会プログラム

(5 月 15 日)

卓話
「青少年奉仕と危機管理」

地区危機管理委員会・青少年奉仕委員会
委員長 黒田健一氏

次週例会当番 鈴木

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター

◇ 出席率 先 週 会員数 17 名 出席数 9 名 出席免除 2 名 欠席数 6 名
先々週 会員数 17 名 出席数 5 名 出席免除 2 名 欠席数 10 名

◇ 欠席者 6 名 井上 榊 柴田 鈴木 高田 松野

◇ メークアップ 2026 年 4 月 18 日 姉妹クラブ合同例会 原田 林 鈴木 網本 鳥井 宮宅 榊 岡田 藤井
2026 年 4 月 26 日 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー
網本、鳥井、原田、宮宅、林、榊、山本、井上、岡田



★ 網本会長エレクト

★ 林会員に委嘱状・RLI パートⅢ
卒業証とバッジ

★ 鳥井会員に委嘱状

RIテーマ よいことのために手を取りあおう

① 各RC例会変更のお知らせ

高砂 RC 5月1日(金)→休会【定款第7条第1節(d)による】

5月8日(金)→休会【定款第7条第1節(d)による】

加古川中央RC 5月28日(木)→休会【定款第7条第1節(d)】

6月18日(木)→最終例会 18時～ 於；加古川プラザホテル2階

6月25日(木)→休会【定款第7条第1節(d)】

② 回覧します

・(公財)PHD協会より PHD LETTER VOL. 161

・三木 ロータリー日本財団理事長ならびに姫路ロータリークラブより、Rotary Japanのインスタグラム記事を共有のご依頼がありましたので回覧いたします。

・地区より 2026年クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーご出席のお礼

・熊本平成ロータリークラブ週報

③ Boxに月信、ロータリーの友、ハイライトよねやま Vol. 313、最終例会のご案内を入れております。

④ 次週8日(金)の例会は、例会取消〔定款第7条第1節(d)〕となっております。次々週15日(金)の例会は、地区より危機管理委員会・青少年奉仕委員会委員長、黒田健一氏がお越しになります。たくさんのご出席をよろしく願いいたします。

SONG TODAY

こいのぼり

作詞近藤宮子・作曲不詳

やねよりたかいこいのぼり

大きいまごいはお父さん

小さいひごいは子どもたち

おもしろそうにおよいでる



クラブ会報・雑誌
記録小委員会

ポリオワクチンに関する誤解を払拭するロータリアン

ダイアナ・マリア・ピルガさん

トゥルキエ・エヴレンセル・ロータリークラブ (第2430地区)

UNICEF パキスタン、デジタル・コミュニティ・エンゲージメント・スペシャリスト

母国のルーマニアでボランティアの機会を探していたとき、ソーシャルメディアでローターアクトのプロジェクトに関する投稿を目にしました。寄付をしたら、会員から「一緒に参加しよう」と誘われたんです。ローターアクトに入会し、その後もさまざまなプロジェクトに参加しました。私のデジタルキャリアは、そこから始まったと言ってもいいかもしれません。当時、ルーマニアではソーシャルメディアがブームになっていて、私たちはクラブとして、若者たち

がユーザーとしてだけでなく、仕事としてソーシャルメディアについて学ぶためのカンファレンスを開催し始めました。

ローターアクトに入会した
当時は、ロータリーがどのようなものかまったく知りませんでした。今でも覚えていますが、私はコンピューターに向かって、ロータリーのポリオ根絶活動に関するビデオを見ていま



した。会員が一生懸命取り組んでいる姿に感動しました。ロータリーと一緒にこのプログラムに取り組むことができたなら、どんなに素晴らしいことだろうと思ったことを覚えています。そして10年後、私にその機会が巡ってきました。

UNICEF では、誤った情報を管理し、ポリオ予防接種をめぐるためらいに対処することが私の仕事の一部です。大多数の親はワクチンに反対しているわけではありませんが、一部のグループが懸念を抱えているんです。副作用を心配する人もいますし、同じワクチンを何回も接種する必要があるのか疑問に思う人もいます。こうした懸念に対処しないままにしておくと、不安が高まり、否定的な見方が広まることで、躊躇や拒否につながる恐れがあります。

私たちは二つの方法でワクチンに関する懸念に対応しています。まず、ポリオワクチンが安全である理由や、なぜ繰り返し接種が必要なのかについて、医療従事者が家族に説明する際に活用できる、わかりやすい説明資料を提供しています。次に、私たちは信頼できる地元の声に耳を傾けています。親は知り合いの意見に耳を傾けやすいものであり、ほかの保護者たちが自分の子どもへのワクチン接種体験を語ってくれると、その安心感は政府機関からのメッセージよりも効果がある場合が多いのです。信頼できる地域社会の声に耳を傾け、協力することで、私たちはポリオ予防接種への信頼を守っています。

この記事は、『Rotary』誌 2026 年 4 月号に掲載された記事を翻訳したものです。

姉妹クラブ合同例会・交換会 2026. 4. 18 (土) 於 ; KKR ホテル熊本



